

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	期末配当 3月31日 (中間配当 9月30日)
定時株主総会	毎年6月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店	お取引の証券会社になります。	みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 (トラストラウンジは除く) みずほ証券株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	単元未満の買取・買増以外の株式売買はできません。電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券がある場合は至急ご連絡ください。

※未払配当金のお支払のみ、株式会社みずほ銀行全国本支店でもお取扱いいたします。

公告方法 電子公告 (<http://www.okayaelec.co.jp>)
ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式への投資魅力を高め、より多くの皆様に保有していただきたく、毎年3月末の当社株主名簿に記載された方々を対象に、株主優待制度を実施いたします。

《優待内容》

300株以上	500株未満	おこめ券	2kg
500株以上	1,000株未満	おこめ券	5kg
1,000株以上		おこめ券	10kg



300株以上500株未満を **3年以上** おこめ券1kg追加

500株以上を **3年以上** おこめ券2kg追加

※毎年3月末日時点の株主名簿に、同一株主番号にて4回以上連続で記載された株主様。

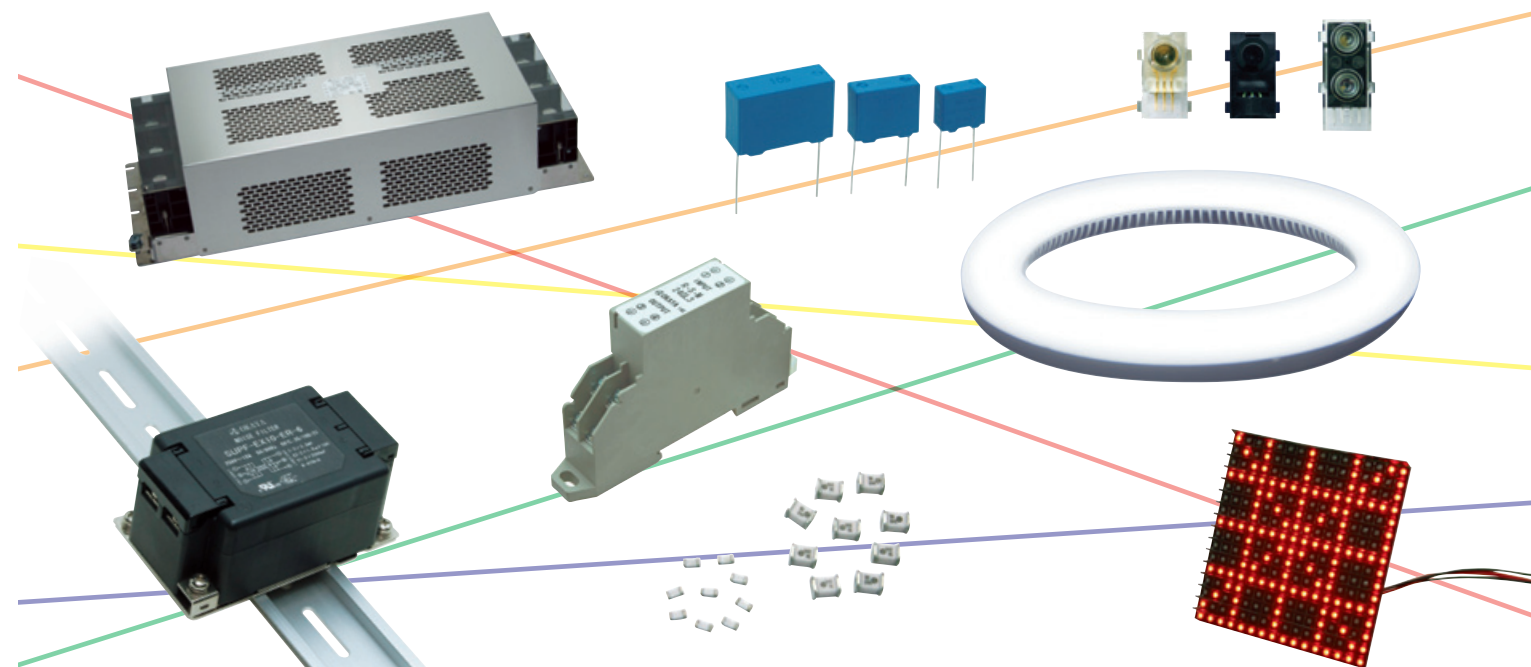
単元未満株式の 買取・買増制度のご案内

単元未満株式（100株未満の株式）については、「単元未満株式の買取請求」により、当社に売却することができます。また、「単元未満株式の買増請求」により、当社から単元株式数（100株）に不足する株式を買い増して、100株単位にまとめることもできます。「単元未満株式を売却する」、「単元未満株式を100株に買い増す」という株主様は、口座を開設されているお取引証券会社等にお申し出ください。なお、特別口座に記録されている株主様は、特別口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社へお申し出ください。

株主名簿管理人 〒168-8507
特別口座管理機関 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(お問い合わせ先) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
0120-288-324(フリーダイヤル)
受付時間 9:00～17:00(土日祝日を除く)

第94期 事業報告書

2016年4月1日～2017年3月31日



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当連結会計年度における世界経済につきましては、米国経済の足踏みや中国経済の減速、さらには英国のEU離脱決定による欧州経済の先行き懸念等、様々な課題が指摘されています。また、国内経済も依然として不透明感が拭えない状態が続いています。

このような経済環境のなか、当社は昨年4月に代表取締役の交代を含む、組織及び役員体制の変更を実施しました。新体制のもと、経営ビジョンとして「車載産業への参入」を掲げ、担当部署として経営企画室を新設して実現に向けたロードマップの策定を開始しました。

当連結会計年度における国内の販売面につきましては、産業機器向けで一部回復基調がみられるものの、低調に推移しました。海外では、中国及び東南アジアにおけるエアコン向け及びOA機器向けが安定した受注を維持しています。しかしながら各セグメントに為替変動の影響があり、全体の売上高は前年度よりも減少しました。

生産・技術面につきましては、生産技術力・製品開発力の強化に努めており、昨年10月より埼玉事業所内の新工場が稼働を開始しています。

また、一昨年4月にスタートした第9次中期経営計画で掲げた「成長」と「土台作り」を実現するため、「やり遂げる力」と「創り出す力」の強化を図ります。追加施策として「新商品比率の引き上げ」「新規顧客の開拓」「重点分野への攻め」「技術系人材の増強」「“コミットメント”の浸透」を引き続き推進してまいります。

なお、米国においては、コンデンサの取引に関する競争法規制当局による調査は終了しており、集団民事訴訟については原告側と和解が成立し、現在管轄裁判所の承認手続き中ではありますが、一部の企業が集団民事訴訟から離脱しており、その対応が今後発生する可能性があります。その他の複数の国では、競争法規制当局による調査が継続中であり、カナダにおいては集団民事訴訟が提起されています。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は122億26百万円（前年比99%）、営業利益は4億84百万円（同135%）、経常利益は4億68百万円（同145%）となり、親会社株主に帰属する当期純利益は3億65百万円（前年は7億53百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

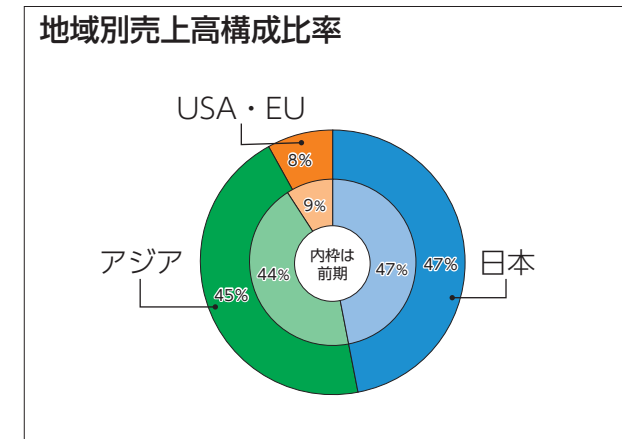
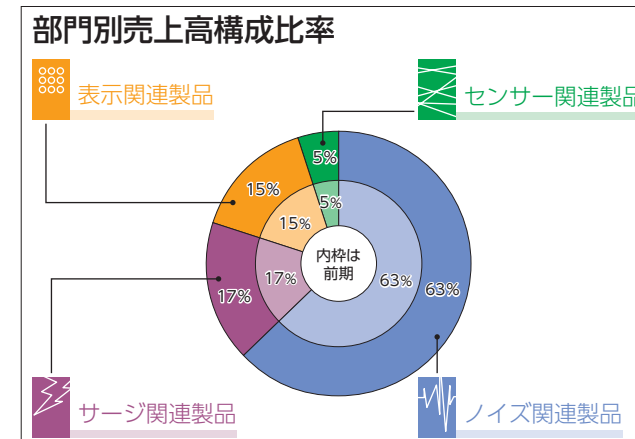
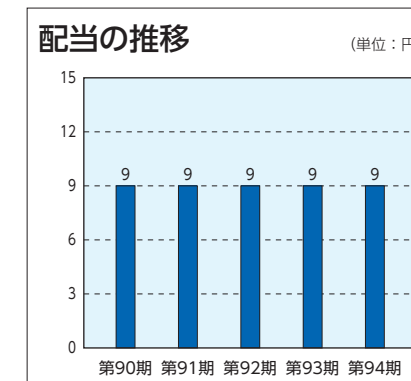
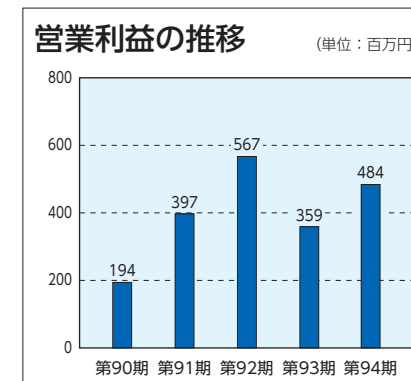
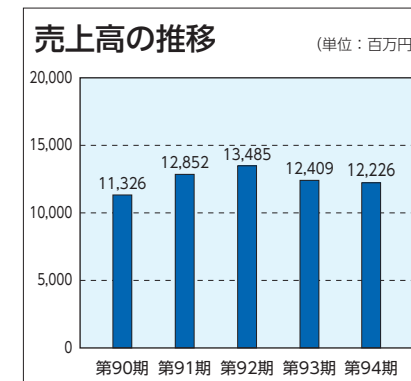
2017年6月



代表取締役
社長執行役員 山田尚人

決算ハイライト

売上高	122億26百万円	(前期比	99%)
営業利益	4億84百万円	(前期比	135%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3億65百万円	(前期比	-)



ノイズ関連製品

国内の産業機器向けが回復基調にあるものの売上は低調に推移しました。日系メーカーのエアコン向け等の受注は好調でした。その結果、ノイズ関連製品の売上高は77億30百万円（前年比99%）となりました。



サージ関連製品

ロボットをはじめとする国内の産業機器向けは回復傾向にあり、日系メーカーのエアコン向け等の受注も安定して推移しました。前年度好調であった屋外LED照明用電源向けは減少しました。その結果、サージ関連製品の売上高は20億90百万円（同100%）となりました。



表示関連製品

新製品の立ち上がりが順調であり、照明用LED及び産業機器向けの売上が増加しましたが、北米でのLCDの売上が伸び悩みました。その結果、表示関連製品の売上高は18億0百万円（同96%）となりました。



センサー関連製品

産業機器向けエンコーダ用が増加したものの時計指針補正用が減少しました。その結果、センサー関連製品の売上高は6億4百万円（同92%）となりました。



OKAYAニュース

◆WEBサイトリニューアル

このたび、当社WEBサイトをリニューアルしました。お客様向けの製品情報検索機能をはじめ、当社製品がどのような分野で活躍しているのか、分かりやすく解説するコンテンツも設けました。是非ご覧ください。

また、WEBサイトリニューアルに併せ、新たなキャッチコピーを「Components of the future（未来の部品）」と決めました。この言葉には、「10年後も勝ち続ける製品・事業・技術の創出」という私たちの熱い思いが込められています。



URL <http://www.okayaelec.co.jp>

◆国内外全拠点にて最新版ISO認証に対応

岡谷グループは、ISO9001（品質マネジメントシステム）及びISO14001（環境マネジメントシステム）の認証を取得しています。このたび、国内外の全拠点において、最新規格であるISO9001：2015及びISO14001：2015への更新審査が完了しました。

ISO認証取得企業は、2018年までに最新規格への適応が求められています。当社は、これに先んじて社内システムの更新を進めました。

◆ものづくり大学「卒業研究テーマ実習」

2016年9月から11月にかけて、ものづくり大学（埼玉県行田市）の学生4名が、昨年稼働を開始した埼玉新工場にて「卒業研究テーマ実習」を実施しました。これは大学との共同企画として開催されているもので、学生は期間中毎日生産ラインに入り、様々な分析を行いました。そこで得られた結果は、卒業論文の作成に活かされています。

当社は今後も様々ななかたちで、教育機関との連携を深めていく方針です。

決算概要

貸借対照表（連結）

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期	前期
	平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	9,326	8,931
固定資産	5,122	4,057
資産合計	14,449	12,989
負債の部		
流動負債	3,003	3,062
固定負債	2,248	1,340
負債合計	5,252	4,402

損益計算書（連結）

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期	前期
	(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)	(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
売上高	12,226	12,409
売上原価	9,105	9,488
販売費及び一般管理費	2,636	2,561
営業利益	484	359
営業外収益	96	111
営業外費用	112	147
経常利益	468	323
特別利益	78	132
特別損失	8	1,320
税金等調整前当期純利益	538	△865
法人税等	173	△112
親会社株主に帰属する当期純利益	365	△753

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期	前期
	平成29年3月31日現在	平成28年3月31日現在
純資産の部		
資本金	2,295	2,295
資本剰余金	1,861	1,861
利益剰余金	3,548	3,384
自己株式	△121	△121
株主資本	7,583	7,419
その他の包括利益累計額	1,613	1,166
純資産合計	9,196	8,586
負債純資産合計	14,449	12,989

キャッシュ・フロー計算書（連結）

(単位：百万円 百万円未満切り捨て)

科目	当期	前期
	(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)	(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	364	1,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△664	△452
財務活動によるキャッシュ・フロー	496	70
現金及び現金同等物に係る換算差額	28	△112
現金及び現金同等物の増減額	225	637
現金及び現金同等物の期首残高	2,191	1,554
現金及び現金同等物の期末残高	2,416	2,191

会社概要・役員

(平成29年4月1日現在)

創 資 事	立 本 業 所	昭和21年6月1日 2,295,169千円
本 東 名 大 長 静 福 埼 長	社 東 東 名 大 長 静 福 埼 長	東 東 名 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古 阪 野 岡 岡 玉 野
		都 都 屋 市 市 出 出 出 出 出 出 出 出
		世 世 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東
		田 田 区 区 区 区 区 区 区 区 区 区
		谷 谷 東 大 長 静 福 埼 長
		区 区 野 岡 岡 岡 岡 岡 岡
		東 大 長 静 福 埼 長
		京 京 古